



癸卯（みずのと・う）

弥富市教育委員会 教育長 高山 典彦

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は教育行政に深いご理解と多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

今年は今令和5年、西暦2023年です。古くから用いられている干支の言い方をすれば「癸卯（みずのと・う）」にあたります。「癸（みずのと）」は十干の10番目で生命の終わりを意味し、次の新たな生命が芽生えている状態を表すそうです。

全国的な少子高齢化が進む中、弥富市も小中学校の児童生徒数の減少を受け学校再編に舵をきりました。それが「弥富市小中学校未来構想（案）」（下の二次元バーコード参照）です。保護者や地域の方々からいただいた多くの声に耳を傾けながら、子どもたちの不安が希望に変わるような再編を進めていきます。慣れ親しんだ伝統ある学校がなくなることはとても残念で寂しい思いではありませんが、それが新しい命が吹き込まれた学校の始まりだとしたら、その先には子どもたちの笑顔が見えるのではないのでしょうか。「卯（う）」はウサギです。跳びはねるその姿は、嬉々としてグラウンドを駆け回る子どもたちの姿と重なります。



これまで地域の方々から愛され支えられながら伝統を刻んできた学校の今年の歩みが、未来に続く一歩となる「癸卯」です。生涯学習においても大きな転機となる年となります。先の見えないコロナ禍ではありますが、少しずつさまざまな活動や行事が再開してまいりました。活動制限や活動自粛を経験したこと、改めて心豊かな人生を送る上では、文化活動やスポーツは必要不可欠なもので大切であることを感じた今、それをいかに途絶えることのないものとしていくか、私たちの知恵が問われる時です。文部科学省は、中学校の部活動を持続可能なものとするため、週末の部活動から段階的に地域移行していく方針を明らかにし、その第一歩が始まるうとしていきます。中学生をも巻き込んだ新しい生涯学習のデザインの芽は、この先、どんな葉やつぼみをつけるのでしょうか。「癸卯」は大切な年となります。新たな生命が芽生えるさまざまな取り組みに対し、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

令和5年 元旦



謹賀新年

弥富市議会議長 平野 広行

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に輝く新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より市議会に対しましては、温かいご支援、ご協力を賜り、議員一同、厚くお礼申し上げます。

さて、長引く新型コロナウイルス感染症は、発生してから3年になります。昨年8月に「第7波」のピークを迎えた後、新規感染者数の減少傾向が見られ、市民活動や経済活動の再開によりまちの「にぎわい」が戻りつつありましたが、未だ収束の見通しが立たない状況であります。

このような状況下において、本市でも、市内医療機関の皆様のご尽力のもとワクチン接種をはじめ、生活支援に係る給付金の給付など各種対策が進められてきました。

市議会としましては、本年も新型コロナウイルス感染症対策は、重要課題の一つであると考えておりますので、ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、引き続きしっかりと取り組んでまいります。一方、人口減少・少子高齢化への対策をはじめ

め、公共施設を含めたインフラの老朽化への対応、原油等価格高騰による市民生活や地域経済への影響、激甚化する自然災害への対応など、本市を取り巻くさまざまな社会経済情勢は大きく変化してきており、新たな課題やニーズに迅速かつ柔軟に対応していく必要があります。二元代表制の一翼を担う市議会として、更なる議会改革を進め多様化する市民ニーズに応えるよう、市民の皆様そして各地域のお声をしっかりと受け止め、行政と連携をはかりつつより良いまちづくりを目指していかなければならないと決意を新たにいたしましたところでございます。今後も市民の皆様のご多様な意見に耳を傾け、さらなる創意工夫を重ねながら市勢発展および市民福祉向上のために、議員一丸となって尽力してまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が健やかで幸せに満ちた一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

令和5年 元旦